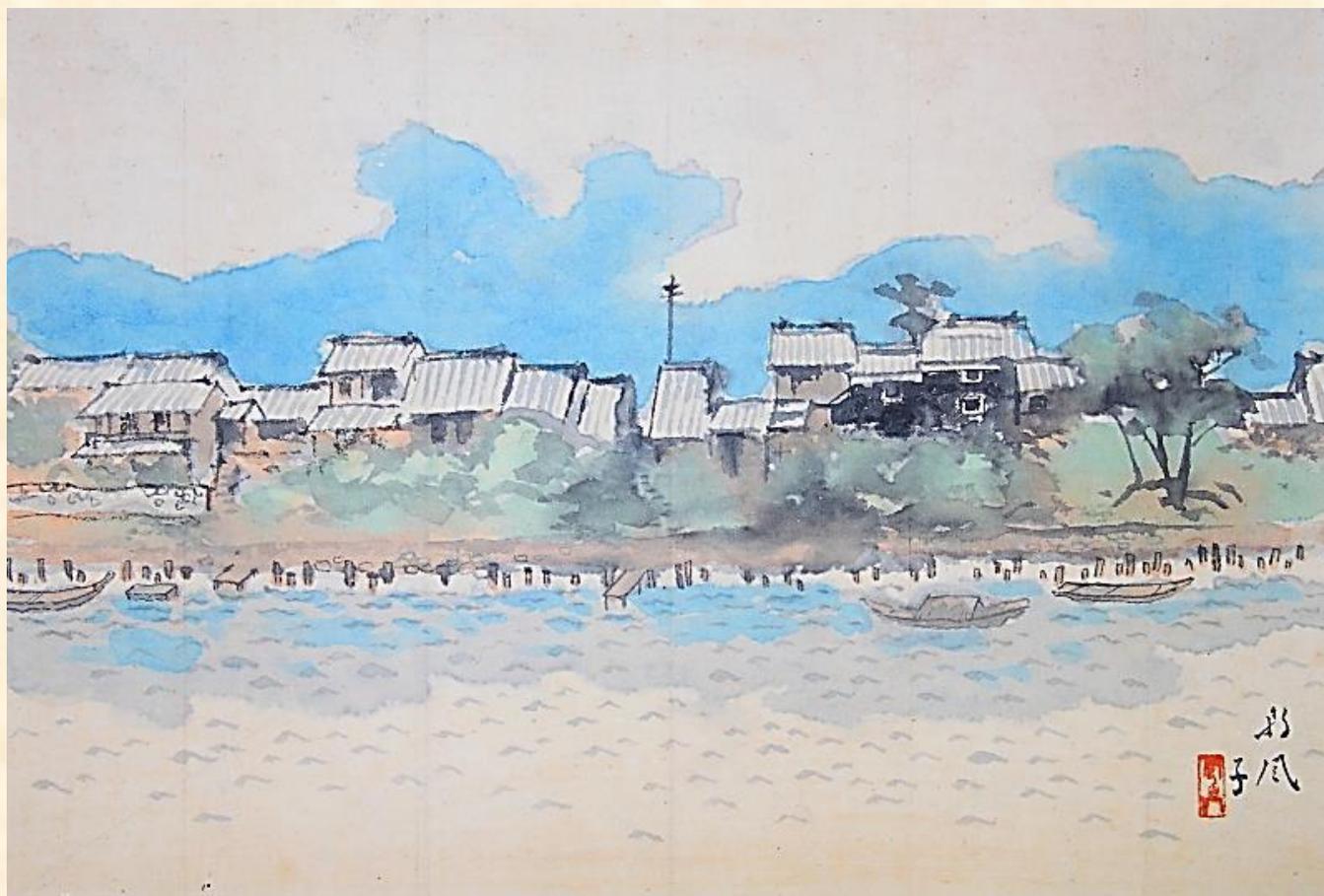


# 墨俣地域まちづくり協議会だより

No. 6

平成29年9月

発行・編集/墨俣地域まちづくり協議会広報編集チーム  
(62-5103)



長谷川 朝風 作「墨俣川町」1955年(昭和30年)

長谷川朝風(本名:慎一)(1901年(明治34年)から1977年(昭和52年))氏は、墨俣町本町に生まれ、幼い頃から絵に親しみ、岐阜市在住の清水古閑氏に師事したのち、京都市立絵画専門学校予科で学びました。号を朝風とし、京都画壇を中心に活躍されました。1931年の帝展初入選後、眼病を患いながらも院展で活躍し数々の賞を受賞し、院展特待画家となりました。戦後は、岐阜画壇の中心となって県内作家の活動を盛り立てるなど尽力されました。

今年は、朝風氏没後40年にあたります。口絵は、昭和初期まで長良川沿いにあった墨俣町川町を対岸の日置江村(現 岐阜市 茶屋新田)から見た風景です。川町は、犀川事件を経て、犀川河川改修工事で消え、今となっては、当時の面影はありません。

100年ほど前までは、川町には渡船場があり、役場、警察署をはじめ、料理屋、呉服屋、指物屋、遊技場等の各種商店が軒を連ね、夕暮れ時には紅灯弦歌で賑い、そこで暮らす人々の日常がありました。

川町は失われた景観ですが、墨俣地域にはまだまだ歴史、文化、自然を感じさせる景観があります。今年の2月から6月にかけて、景観を主軸としたカルタの読み札を募集し、564作品の応募の中から、44作品が決定しました。カルタづくりは、まだ道半ばですが、完成に向けて一步一步、進んでいます。

# 歩くまち墨俣 ふるさと景観カルタ「読み札」



## たくさんのご応募、ありがとうございました！

墨俣地域は、古くから美濃路や鎌倉街道の要衝として繁栄してきた宿場町です。一夜城周辺では桜やアジサイが咲く水辺の風景が広がり、美濃路界隈では歴史と文化を感じさせる街並みが続き、二ツ木、上宿、下宿では鎌倉街道と田園風景の中に史跡が点在し、豊かな景観を形成しています。

墨俣の景観・歴史・文化を表現するカルタの「読み札」を今年の2月から6月にかけて募集したところ、墨俣地域在住の方はもちろん、市外在住の方、年齢は10歳から90歳の方、墨俣小学校の児童さんから桜高校の生徒さんまで、564作品の応募がありました。

審査が終了しましたので、採用作品を発表いたします。現在、絵札を制作中です。カルタの制作状況については、協議会だより等でお知らせする予定です。

- あ 阿仏尼も 心もとなし 船の橋
- い 命かけ 教如守った 土手組
- う 薄紅の 衣を纏う 一夜城 大垣市景観遺産
- え 得がたい 往年の建築 岐島屋百貨店 大垣市景観遺産
- お 大騒ぎ 墨俣川を 渡る象
- か 川渡る 大海人皇子 助けた女 不破明神
- き 季節折々 自然豊かな さい川さくら公園
- く 繰り舟の 名残のひとつ 常夜燈
- け 元気な幸の子 歌う校歌は 双魚作
- こ 今宵も 美濃路を照らす 常夜燈
- さ 桜はね 自慢のひとつ 宝物
- し 下野家の 枝垂れ桜と 水屋蔵 大垣市景観遺産
- す 墨俣の 9割被災 9.12
- せ 全国を 三度制した 消防団
- そ そろり立つ 石垣見あげる 奥田家水屋 大垣市景観遺産
- た 旅人も 鎌倉までの ひと休み
- ち 朝風が 描く渡船場 墨俣渡し
- つ 梅雨の下 映える紫 あじさい街道
- て 天守に さん然と輝く 金の鯨
- と 東西の 歴史が通う 美濃路かな
- な 長良大橋 地域をつなぐ 虹の橋 大垣市景観遺産

- (に) 西美濃の 十九番札所 明台寺  
 (ぬ) 縫い上げる 思いを込めた つるし雛  
 (ね) 年中行事 將軍御用の お茶壺道中  
 (の) 残り香漂う 花びら飾る しだれ梅  
 (は) 橋杭に 祈りをこめて 笑地蔵  
 (ひ) 秀吉の 出世夢みる 一夜城  
 (ふ) 古き町 今も残れり 銭湯跡 **大垣市景観遺産**  
 (へ) 平氏と対峙 義円の奮闘 痕跡残す  
 (ほ) 螢火や 一夜の城の 夢の跡 (熊谷夜城)  
 (ま) 町中に 行燈ともる 美濃路かな  
 (み) 道しるべ 七墓連中の 地蔵菩薩  
 (む) 昔の味を 今に伝える 皮羊羹  
 (め) 目を見張る きらびやかな 朝鮮通信使  
 (も) 物思い かつての川町 懐かしみ  
 (や) 野菜使う 手作りアート 天王祭  
 (ゆ) 夕涼み 子らが集まる 地蔵盆  
 (よ) 米山家 住居式水屋に 保存食備え **大垣市景観遺産**  
 (ら) 頼山陽の 碑文を発見 明台寺  
 (り) 琉球使節 通行ゆかりの 石燈籠 **大垣市景観自慢**  
 (る) 流浪の西行法師 墨俣で 和歌を詠む  
 (れ) 歴史に残る 水との闘い 犀川事件  
 (ろ) 六か寺に 歴史の歩み 寺町界限 **大垣市景観遺産**  
 (わ) 脇本陣 墨俣宿の 名残なり **大垣市景観遺産**

作品採用者(順不同)

浅野祐紀乃様、久保田悟義様、栗田温香様、塚本富士子様、中山祐希様、平林薫月様、水野みちる様、とーきちろー様、匿名希望の方々。

## あなたの「得意・興味」を、まちづくりに活かしませんか？



墨俣地域まちづくり協議会では、コンパクトなまちである墨俣の特性を活かしながら、人が主役となる歩くことを中心としたまちづくり、「歩くまち墨俣」ビジョンを推進しています。

地図作成、案内路面表示、広報作成等、あなたの得意分野、興味がある分野で、まちづくりに参加してみませんか？ 協議会フェイスブックページに文章や写真を掲載してくださる方も募集しています。

<https://www.facebook.com/sunomatachiiki/>

連絡先：大垣市墨俣地域事務所地域政策課 62-3111

## <まちの出来ごと>

### —「あじさいまつり」と「宿場町景観遺産めぐり in すのまた」—



「すのまたあじさいまつり」は、好天に恵まれ、あじさいもちょうど見頃となり、大勢の人で賑わいました。あじさい見本市、即売会、花かざり講習会、あじさい茶屋の他、バザーもあり多くの団体の協力のもと開催されました。

また、今年は「景観遺産めぐり」も同日開催され、校区内外より120名の参加のもと、大垣市の景観遺産(景観自慢)に指定された建造物・風景の9ポイントをめぐるウォーキングイベントで、情緒あふれる墨侯の町並みを体感していただきました。(6月11日開催)

### —すのまた天王祭—



天気が危ぶまれる中開催された今年の天王祭でしたが、夕方6時頃には雨もやみ徐々に人出が増えてきました。てるてる座などのステージイベントや抽選会、商工会バザーなどが開催され、16,000 人の人出で賑わいました。また、天王祭メインイベントの「作りもの(ダシ)」の展示では、年々レベルアップして、市長賞は、本町4班が受賞しました。(7月23日開催)

### —楽しい夏のタベ in すのまた—



あいちゃん



今年の「夏のタベ」は、東安中学校生徒32名のスタッフが大活躍でした。スポレクでは、各コーナーで子供たちを楽しませ、かき氷などのバザーでは立派な売り子ぶりでした。また、盆踊りでは、大垣市ボランティア市民活動支援センターマスコットキャラクターの「あいちゃん」の着ぐるみに入ったり、全体の進行を見事にアナウンスしていました。その他にも、校区内18団体、総勢180名のスタッフで盛大に開催されました。(8月5日開催)

## <編集後記>

今年のヒマワリは、開花が遅くなるかと心配していましたが、8月下旬からちらほらと咲き始め、9月上旬には予定どおり満開になりました。夏の名残と秋の気配を感じるこの時期、初秋の空に浮かぶ雲を背景に、黄色のヒマワリがゆらゆらと揺れ、水路沿いにカワセミが飛び去っていきます。ヒマワリ畑にいる人たちは、みんなどこか幸せそうです。

大垣市墨侯商工会青年部が開発した「墨侯バーガー」が好評のようです。今年の3月から各催事で売り出され、ヒマワリ畑での販売も、短時間で完売したようです。このような名物が増えていくのは嬉しく思います。

これから秋が深まりやがて冬を迎えますが、墨侯地域では、文化祭、ニューイヤーサンライズ、つりびな小町めぐり等の行事がありますので、是非、足を運んでみてください。

